

参考資料2

令和3年度第1回ヤクシカWG合同会議における主な意見・助言等に対する今後の取組方向

課 題		主 な意見・助言等	関 係 機 関	回 答 等
議事(2) 捕獲等の被害防止対策について	②令和2年度屋久島町における鳥獣被害防止対策	現状、狩猟者の高齢化や減少の問題があるため、様々な形、方法で野生鳥獣に対する防除を考え、その1つとして、屋久島町にもモンキードッグ等を応用した取組も考えていただきたい。	屋久島町	猟友会等の協力が必要なため、両猟友会等と意見交換しながら導入について検討していきたい。
	⑦鹿児島県のヤクシカ対策について	狩猟に関しては何かCPUEのようなデータは取れないか。	鹿児島県	現在のところ、CPUEの算出に必要なデータについては取得していない。今後のWGにおける議論の推移を踏まえつつ、その必要性も含め検討していきたい。なお、狩猟捕獲については、全捕獲数の0.4%から3.8%程度(H30～R2)であり、捕獲の大部分は有害捕獲等の許可捕獲となっている。
議事(4) 特定エリアの対策(西部地域)	②屋久島西部地域におけるヤクシカ管理に関するモニタリング結果	自動撮影カメラによる35地点のモニタリングについて、試験捕獲エリアの適切性なども課題であり、エリアの移動の検討なども含め、重要な情報になるため、ぜひ継続して欲しい。	環境省	調査コストも大きいため、必要な調査地点を精査し、継続性を考慮しながら調査体制を検討したい。
議事(5)	①第二種特定鳥獣(ヤクシカ)管理計画について	特定計画について、環境省の基本指針などでも錯誤捕獲の問題が以前よりクローズアップされた印象がある。錯誤捕獲の防止については慎重な記述でご検討いただきたい。	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	錯誤捕獲の防止については、現計画に記載しているとおり、わなの場合には定期的な見回りを行うことが、銃においては矢先の確認を慎重に行うこと等が肝要かと考える。引き続き錯誤捕獲の防止については記載するとともに、関係機関の意見照会をする中で追記すべき事項等があれば検討していきたい。
		科学委員会発足時よりデータも蓄積してきた段階であるため、もう少しきめ細やかな目標設定が必要と考える。植生の回復や現実的な対策も念頭に置きながら、河川界区分とは異なる区分で目標設定をする考え方を、ヤクシカワーキングとして整理していく必要があり、今後の課題である。	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	目標設定の考え方については、今後、WGで議論を深めたうえで検討していきたい。
今後の屋久島管理方針等について	②ヤクシカ管理の今後の方向性について	有効活用の推進について、捕獲個体の処分やジビエの活用による地方創生など、何を優先して何の目的でやるのかということを明確にしておく必要がある。	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	今後、WGで議論を深めたうえで検討していきたい。
		有効活用と被害対策の両立を考えるとゾーニングが重要で、有効活用の促進地域と森林生態系の保全地域などに分けて計画を立てるべき。河川界区分とは異なる管理区分の検討が必要。	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	今後、WGで議論を深めたうえで検討していきたい。
		シカの個体数管理を高標高域も含めてやっていく必要があり、高標高域では依然として絶滅危惧種の減少も続き、深刻な状況にある。その対策を今後真剣に考えるべき時期に来ている。	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	引き続き、WGで議論していきたい。